

# 自家消費型太陽光発電所



再生可能エネルギーへの  
取り組みが  
企業価値を決める

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

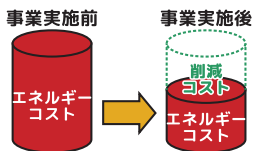
世界を変えるための17の目標



1 100%自家消費 または 2 自家消費 + 余剰売電

### 電気料金の削減

太陽光発電システムを設置することにより電気代を削減することができます。



### 非常時の電源

災害や停電時に非常用電源として使用可能です。蓄電池を備えれば夜間も電気が使えて安心です。



### CO<sub>2</sub>の削減

SDGsの取り組みやCSRなどの対外的PRにも貢献します。



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

### 売電収入

固定価格買取制度により、余った電気を20年間売電することができます。20年間の売電単価が確定します。

@14円 / kWh

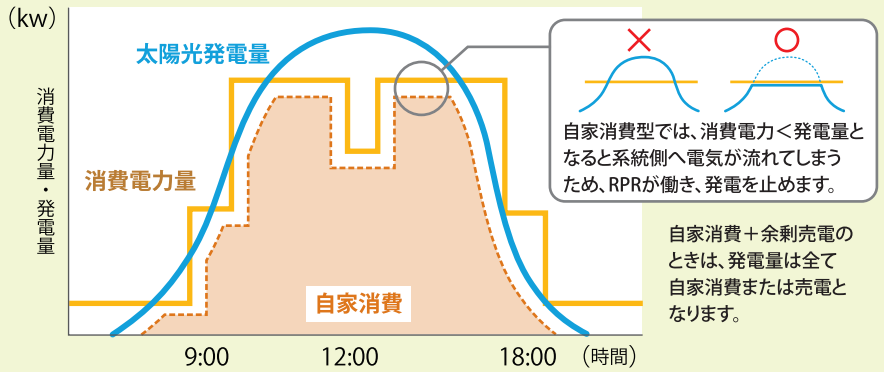
### 優遇税制・補助金

中小企業経営強化税制による、即時償却(100%)や税額控除があります(諸条件あり)。また、国や自治体による補助金制度の対象となる場合があります。詳しくは管轄の省庁にご確認ください。

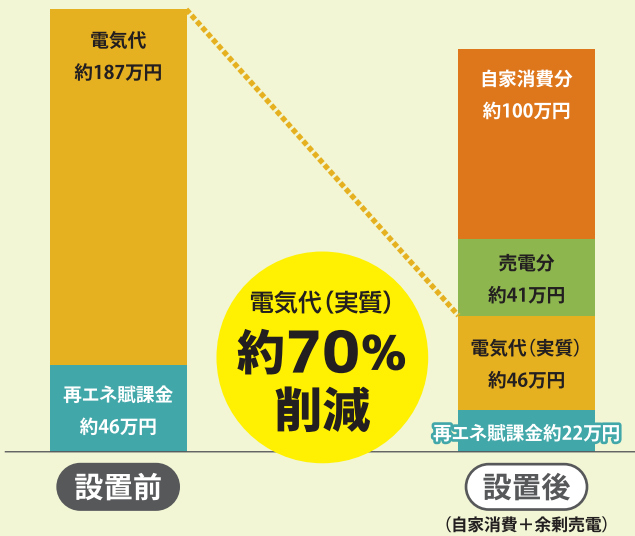
# 設置イメージ

## ■加工工場

契約電力	120kW
年間電力使用量	136,500kWh
設置前電気代	1,871,510円/年
切替前料金プラン	高圧電力
パネル容量	93.5kW
パワコン出力	49.5kW



## 年間の電気代比較(設置イメージ)



## 導入までの流れ

- step1 電気使用量確認・太陽光発電システムの概算プラン作成**
  - 電気の使用量(30分毎の使用量、1年間のデータ)をもとに、設置する太陽光発電システムのプラン検討。
  - ※概算見積・概算シミュレーション作成。
- step2 現場調査**
  - 既設設備の確認(必要な資料:既設の設備図面等)
  - 新設する太陽光発電設備の確認
  - ※詳細見積及びシミュレーション作成
- step3 電力会社接続検討**
  - ※電力会社により21.6万円かかる場合があります。(高圧の場合) ※検討結果が出るまで、3ヶ月から6ヶ月程度かかります。
  - 接続契約締結
  - 稼働時期目安の把握
- step4 事業計画申請(資源エネ庁)**
  - ※余剰売電の場合
  - 固定価格買取制度利用時は、認定取得必要
  - ※認定取得まで3~6ヶ月程度かかる場合があります(2018年の目安)
- step5 設置工事の実施**

## おすすめ太陽電池モジュール

LP series

NEW

セル両面での発電可能。  
高い発電効率を実現。

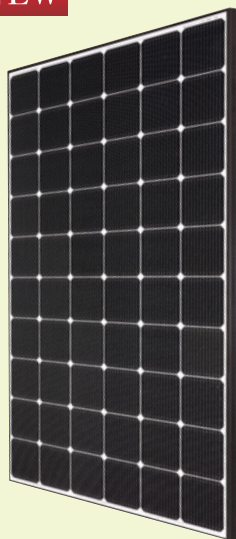
シリーズ史上  
最高出力

LG340N1C-A5



公称最大出力  
**340w**

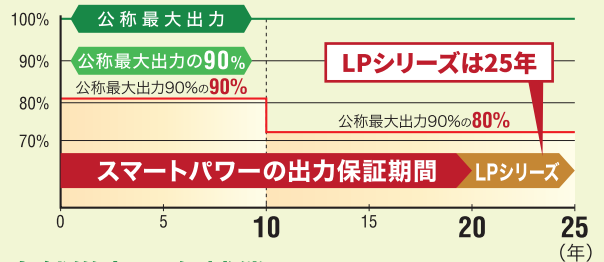
トップクラスの変換効率  
**19.8%**



## 保証



モジュール出力 20年保証



自然災害 10年補償

落雷、火災、水災、台風などの自然災害による太陽光発電システムの損害を、設置から10年間補償します。

〈対象となる損害〉

- 火災、落雷、破裂、爆風、風、霰、雹、雪災、盗難
- 高潮、洪水、土砂崩れなどの水災
- 建物外部からの物体の飛来、衝突

〈対象とならない損害〉

- 戦争、外国の武力行使、内乱、暴動に起因する損害
- 地震、噴火、これらによる津波によって生じた損害

※ 加入にはお申し込みが必要です(販売店にお問い合わせください)。  
※ 50kW未満のシステムの場合。